

具体策	ご意見	取組
① 相談 体制 や 経営 改善 に 向け た 支援	【商】【工】メンター制度を設け、経験豊富な起業家や専門家をメンターとして紹介し、定期的にアドバイスを受けられるようなサポート体制を構築する。 【商】次世代商店主チャレンジ事業（メンター制度）。ビジネスモデルや進め方が明確になっていない層や創業したいが踏み出せない層に、複数回に分けて継続的な講座を開催する（例：塾）。創業後に相談できる関係性も構築できる。 【商】【工】事業者交流会を開催し、地元の事業者や異業種の起業家と交流できるイベントや交流会を定期的に開催し、新規事業者がビジネスネットワークを築ける場を提供する。 【商】【工】業種連携を促進するため、成功事例の共有及び異業種の事業者が出会う場を創出する（交流会、イベント）。 【商】【工】オンラインコミュニティで、事業者同士が情報共有や相談ができるプラットフォームを構築し、孤立することなく事業を継続できるよう支援する。 【商】【工】デジタル化補助金を創設し、中小企業がデジタル化やDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するための経費を補助する。 【商】【工】気軽に集まることができる場所があるといい（会費、事務ノルマ等なし）。 【商】【工】「女性向け創業スクール」の実施などで幅広い女性の創業を支援する。 【商】【工】リモートワークや時短勤務制度の導入に対する支援を行い、働き方の多様化を促進する。これにより、育児や介護を行う女性や高齢者が働きやすい環境を整える。 【商】【工】デジタル技術の活用により、業務のスリム化を行い、少ない人数でも継続的に経営していけるよう、事業者への研修制度の導入。 【商】【工】市内事業所で働く人のデジタル技術向上のための研修の導入。 【商】【工】県内の中小企業が、デジタル化やDXを推進するための経費を補助する制度。DX化推進のための補助金の公募について商工会から都度、市内事業者にお知らせを出す。 【商】【工】事業者が繋がる場をつくることに大賛成です。可能ならば市民も情報を得られる場（例：サポートセンター、カフェ）として展開し、事業者と市民が繋がる協働の場として市内の企業等の情報も得られる環境づくりを提案します。 【商】【工】市民の中には、ハード、ソフト面、まちづくりなどの専門職の経験者等がいます。公募して、ワークショップなどを開催してはどうかと提案します（有償かボランティアか要検討）。先進事例などを手掛けてきた経験のある第三者的な立場の方（市民公募）の協力が得られたら、基本目標に沿って、プロジェクトチームを組み、定期的なシンポジウムを行ってはどうかと提案します。 【商】【工】商工業者の新規参入を促す、特に新規起業家の育成とフォローが必要と思う。窓口として商工会の対応を工夫する必要性を感じる。新規参入者が気軽に話し合える場と人を備える。相談しやすい顔の見える商工会として、支援体制の確立を市役所とともに構築することが必要。	商店等の運営全般にかかわる相談体制を強化するとともに、相互の交流やネットワークづくりにつながる機会を創出します。 また、事業者向けの研修等の開催や受講の取組を支援することと併せて、事業の運営や販売・サービスの提供等におけるデジタル化を推進するための支援を行います。 さらに、時代の変化に対応した多様な働き方が可能な環境を整備するための事業者の取組を支援します。

具体策	ご意見	取組
② 各種商業関連団体との連携や活動の支援	【商】【工】広報に商工会や社協の相談内容を掲載するなど双方向で情報を掲載する。 【商】【工】市、商工会、社協の３者の連携。 【商】【工】市内に仕事があるのかわからない。広報で周知する。 【商】【工】働き口があることを周知する。桶川市でできる仕事を発信する、社会の課題を発信する。 【商】【工】企業マップが電子でもあるとよい。 【商】【工】商工会の会員であることがブランドとなるように、メリットがあるように。 【商】【工】桶川の強みの情報共有。 【商】【工】インターンシップで学校の生徒とつながる機会があるといい。 【商】まちの発展、活性化には、市民が地域の活動に積極的に参加する必要がある。 【商】助け合いが必要。世話を焼く人が必要。 【商】【工】ふるさと納税をもっと強化する。ここで取り扱いが増えることが市内の生産者や事業者を育てることにつながる。 【商】【工】若者、女性、高齢者、障がい者等それぞれの属性にあわせた就職相談会の実施。 【商】【工】企業が障害者を雇用しやすくするための職場のバリアフリー化など事業所内整備を行った場合の補助金の創設。 【商】【工】育児、介護休暇の間の人材確保のために人材バンクを設立し、期間限定で勤務する人材を紹介する制度の創設。 【商】【工】ダイバーシティ推進に取り組む企業に対して税制上の優遇措置を提供する(法人市民税)。 【商】【工】県が提供する、ビジネスに関わるデジタル情報などを事業者に提供するための情報提供会を商工会経由で行う。 【商】【工】地元の観光資源や産業を生かしたプロジェクトを、４者で共同開発する。 【商】地域内のイベント情報や行政施策、商工業者の活動などを一元化して発信するウェブサイトやSNSアカウントを運営。 【商】桶川NEXT商店街プロジェクト事業（持続可能な活動の仕組みづくり、活動の担い手づくり、資金確保の仕組み、使われていない物件を貸し店舗にするための取り組み等を関係機関と協力しながら進めていく）。 【商】【工】桶川市の発展のためには「道の駅」開業と合わせて川田谷地区の活用が必須になる。川田谷地区をどのように開発していくのか、写真等の作成が必要。 【商】【工】桶川市の人口を増やすために、開発の余地がある川田谷地区の用途見直しが必要。川田谷地区の将来像の見直し無くして桶川市の発展は望めない。	市や商工会等の関係機関が連携して、事業者の情報収集と情報発信力を高めるための取組を支援します。 また、多様な人材の確保や雇用の維持につながる就職相談会の開催、ダイバーシティを推進する事業者へのインセンティブの導入等に取り組むほか、人材の育成や事業承継など活動の継続にかかわる取組を支援します。 さらに、地産地消の取組や産業・観光の面などさまざまな地域資源を生かした取組の活性化や事業者間の連携を支援し、ブランド力等の向上にもつながる取組を支援します。

具体策	ご意見	取組
③新たな事業を起こす小規模事業者の活動を支援	【商】 オンラインによる開業のためのワンストップ窓口の設置。 【商】 新たなビジネスモデルを創出できるようなマッチング体制の充実（サイトの作成）。 【商】 【工】 地元の観光資源や産業を生かしたプロジェクトを、4 者で共同開発する。 【商】 次世代商店主チャレンジ事業（メンター制度）。ビジネスモデルや進め方が明確になっていない層や創業したいが踏み出せない層に、複数回に分けて継続的な講座を開催する（例：塾）。創業後に相談できる関係性も構築できる。 【商】 【工】 ふるさと納税をもっと強化する。ここで取り扱いが増えることが市内の生産者や事業者を育てることにつながる。	創業相談にかかわる支援の体制や窓口での対応力を強化するとともに、既存の事業者も含めた新事業の立ち上げやビジネスモデルの試行等、さまざまなチャレンジと事業基盤の確立に向けた取組を支援し、産業の育成にも努めます。 また、既存及び新規の事業の安定化が図られるよう、販路の開拓や収益力の向上、さらに、事業者間の連携や情報発信力の強化等につながる取組を支援します。

具体策	ご意見	取組
④ 商業・業務サービス機能の集積を誘導するなど魅力ある商業環境の形成	【商】ナイトマーケットや夜市の開催。夜間の経済活動を活性化させるため、ナイトマーケットや夜市を定期的に開催し、仕事帰りの人々や観光客を引きつけます。 【商】観光客向けの魅力発信として、SAに桶川の魅力発信本を設置し、高速道路ユーザーへの認知度を上げる。 【商】人気作品とのコラボで、アニメ等の人気作品とのコラボを積極的に進め、観光客を増やす。 【商】アートプロジェクトを推進し、中心市街地にアート作品を展示するアートストリートや、音楽ライブやパフォーマンスを行う「ストリートライブ」など、文化・芸術活動を取り入れる。 【商】道の駅の周辺をべに花でいっぱいにする。 【商】【工】道の駅の周辺が一体的に利用できるようにする。 【商】桶川をべに花ランドにする。 【商】圏央道 I C、東西に2カ所あるので、街中にきてくれるような取組。 【商】地域内経済の循環を促進するため、地域通貨やポイント制度を導入し、市民が地元業者を利用するインセンティブを高める。 【商】近隣市と連携して、近隣自治体で使える商品券を作成し、市民の利便性を向上させ、かつ近隣自治体からの利用者也増やす取り組みを行う。 【商】季節ごとに駅前の公園等を活用して春のお花見や冬のイルミネーション等を市主導で実施し、キッチンカーなどの誘致を行う事で経済の活性化をはかる。 【商】【工】イベントを開催する団体に対しての支援・場所の周知（机、テント等、電気ボックス等の貸し出し）。参考：小諸市まちタネ広場。 【商】観光客向けの魅力創出・発信（観光協会や市の所管課と連携し、冊子やSNSでの発信を強化する）。	新規出店や改装等に向けた取組を支援し、商業環境の維持・発展につなげるほか、まちの強みや魅力を活用したマーケット等の開催等を支援します。 また、さまざまな事業やコンテンツとの連携、文化や芸術活動との融合を図るなど、本市の市場としての魅力の向上やにぎわいの創出、商業や経済活動を高めるための取組を推進します。 さらに、関係機関と連携しながら、多様な媒体を通して情報を幅広く効果的に発信する取組を支援します。

具体策	ご意見	取組
⑤ 駅東西の特色を生かした一体的な商業環境づくり	【商】空き店舗補助金の対象を拡大し、空き店舗補助金に商店会だけではなく、市内の大型商業施設等の空きスペースも含める。 【商】圏央道 I C、東西に 2 カ所あるので、街中にきてくれるような取組。 【商】季節ごとに駅前の公園等を活用して春のお花見や冬のイルミネーション等を市主導で実施し、キッチンカーなどの誘致を行う事で経済の活性化をはかる。 【商】【工】イベントを開催する団体に対しての支援・場所の周知（机、テント等、電気ボックス等の貸し出し）。参考：小諸市まちタネ広場。 【商】観光客向けの魅力創出・発信（観光協会や市の所管課と連携し、冊子やSNSでの発信を強化する）。	中心市街地をはじめ、市内東西に広く分布している商店等のにぎわいの創出や活性化を図るため、補助制度の導入や拡充等の取組を推進します。 また、東西に複数展開している、それぞれに特徴的な観光まちづくり拠点等を有効に活用することで、商店や事業者の商業活動の活性化を支援します。

具体策	ご意見	取組
⑥ 企業からの相談体制の充実	【商】【工】メンター制度を設け、経験豊富な起業家や専門家をメンターとして紹介し、定期的にアドバイスを受けられるようなサポート体制を構築する。 【商】【工】事業者交流会を開催し、地元の事業者や異業種の起業家と交流できるイベントや交流会を定期的に開催し、新規事業者がビジネスネットワークを築ける場を提供する。 【商】【工】業種連携を促進するため、成功事例の共有及び異業種の事業者が出会う場を創出する（交流会、イベント）。 【商】【工】オンラインコミュニティで、事業者同士が情報共有や相談ができるプラットフォームを構築し、孤立することなく事業を継続できるよう支援する。 【商】【工】気軽に集まることができる場所があるといい（会費、事務ノルマ等なし）。 【商】【工】「女性向け創業スクール」の実施などで幅広い女性の創業を支援する。 【商】【工】事業者が繋がる場をつくることに大賛成です。可能ならば市民も情報を得られる場（例：サポートセンター、カフェ）として展開し、事業者と市民が繋がる協働の場として市内の企業等の情報も得られる環境づくりを提案します。 【商】【工】市民の中には、ハード、ソフト面、まちづくりなどの専門職の経験者等がいます。公募して、ワークショップなどを開催してどうかと提案します（有償かボランティアか要検討）。先進事例などを手掛けてきた経験のある第三者的な立場の方（市民公募）の協力が得られたら、基本目標に沿って、プロジェクトチームを組み、定期的なシンポジウムを行ってどうかと提案します。 【商】【工】商工業者の新規参入を促す、特に新規起業家の育成とフォローが必要と思う。窓口として商工会の対応を工夫する必要性を感じる。新規参入者が気軽に話し合える場と人を備える。相談しやすい顔の見える商工会として、支援体制の確立を市役所とともに構築することが必要。	事業所の運営全般にかかわる相談体制を強化するとともに、事業者同士の交流や連携の促進につながる取組を支援します。 また、多様な能力やキャリアを有する市民や専門家等との相互交流を促し、新しい人脈やネットワークづくりにつながる機会を創出します。 さらに、事業者の全体的な課題や問題等の共有とその解決を図るためのセミナーの開催等の取組を支援します。

具体策	ご意見	取組
⑦ 中小企業の経営の安定化を図るための支援	【商】【工】市内に仕事があるのかないのかわからない。広報で周知する。 【商】【工】働き口があることを周知する。桶川市でできる仕事を発信する、社会の課題を発信する。 【商】【工】広報に商工会や社協の相談内容を掲載するなど双方向で情報を掲載する。 【商】【工】市、商工会、社協の３者の連携。 【商】【工】企業マップが電子でもあるとよい。 【商】【工】インターンシップで学校の生徒とつながる機会があるといい。 【商】【工】若者、女性、高齢者、障がい者等それぞれの属性にあわせた就職相談会の実施。 【商】【工】企業が障害者を雇用しやすくするための職場のバリアフリー化など事業所内整備を行った場合の補助金の創設。 【商】【工】育児、介護休暇の間の人材確保のために人材バンクを設立し、期間限定で勤務する人材を紹介する制度の創設。 【商】【工】ダイバーシティ推進に取り組む企業に対して税制上の優遇措置を提供する(法人市民税)。 【商】【工】リモートワークや時短勤務制度の導入に対する支援を行い、働き方の多様化を促進する。これにより、育児や介護を行う女性や高齢者が働きやすい環境を整える。 【商】【工】地域内のイベント情報や行政施策、商工業者の活動などを一元化して発信するウェブサイトやSNSアカウントを運営。 【商】【工】桶川市の発展のためには「道の駅」開業と合わせて川田谷地区の活用が必須になる。川田谷地区をどのように開発していくのか、青写真の作成が必要。 【商】【工】桶川市の人口を増やすために、開発の余地がある川田谷地区の用途見直しが必要。川田谷地区の将来像の見直し無くして桶川市の発展は望めない。	人材の安定的な確保を推進するため、事業者による情報発信の取組を支援するほか、就職相談会の開催等の取組を推進します。 また、市内のさまざまな情報を集約して効果的に発信する取組を進めるとともに、市内事業所や職場環境等の特徴などを周知し、その優位性や魅力を高める取組を支援します。 さらに、求人と求職のマッチングを促進するための取組等を関係機関が連携して支援することと併せて、ダイバーシティを推進する事業者へのインセンティブの導入等により、経営環境の安定化に向けた取組を支援します。

具体策	ご意見	取組
⑧ 関係機関と連携・協力し、企業の競争力向上のための支援	【商】【工】デジタル化補助金を創設し、中小企業がデジタル化やDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するための経費を補助する。 【商】【工】商工会の会員であることがブランドとなるように、メリットがあるように。 【商】【工】桶川の強みの情報共有。 【商】【工】道の駅の周辺が一体的に利用できるようにする。 【商】【工】ふるさと納税をもっと強化する。ここで取り扱いが増えることが市内の生産者や事業者を育てることにつながる。 【商】【工】デジタル技術の活用により、業務のスリム化を行い、少ない人数でも継続的に経営していけるよう、事業者への研修制度の導入。 【商】【工】市内事業所で働く人のデジタル技術向上のための研修の導入。 【商】【工】県内の中小企業が、デジタル化やDXを推進するための経費を補助する制度。DX化推進のための補助金の公募について商工会から都度、市内事業者にお知らせを出す。 【商】【工】県が提供する、ビジネスに関わるデジタル情報などを事業者に提供するための情報提供会を商工会経由で行う。 【商】【工】地元の観光資源や産業を生かしたプロジェクトを、4者で共同開発する。 【商】【工】イベントを開催する団体に対しての支援・場所の周知（机、テント等、電気ボックス等の貸し出し）。参考：小諸市まちタネ広場。	時代の変化に対応したデジタル化やオートメーション化等を推進するための取組を支援します。 また、多様な働き方が可能な環境や人材を育成する環境を整備するための事業者の取組を支援するとともに、製品のブランド力等の向上にもつながる取組を支援します。 さらに、ソフト面から道路交通網等ハード面までのさまざまな地域資源を生かした生産・加工から流通、販路の開拓等、個々の事業の推進と安定、拡大に向けた取組の支援と併せて、グローバル化における企業の生産性の向上や技術力の強化等、産業の育成を支援します。